

ひと口レポート

実施日：10月29日 科目名：おもしろ「こども科学・手作りおもちゃ体験」

講座テーマ：教養講座③ 世界史入門 <二つの大陸文明の出会い>

講師：岸 勇司先生

- ◆「二つの大陸文明の出会い」を岸先生に予想を立てて、答えをおしえていただき、高校時代を思い出しました。脳の活性化に役立ちました。
- ◆南北アメリカ大陸の農産物や先住民の話は知らなかった部分も多く、考えさせられる内容でした。
- ◆コロンブスの新大陸発見は異文化を結び付け、原産農産物の交流とともに進化。身近な食べ物のルーツが理解でき、楽しかった。コロンブスは人類を救った。
- ◆“世界史入門”と聞いて、授業前は引いていましたが、題材を身近なものにすることで、興味深く学習できました。
- ◆世界史入など、大昔に習ったので、心配していたけれど、予想と違って食べ物の話で、とても新鮮だった。
- ◆学生時代は授業の世界史を学んだが、今日のような授業でなく、面白味がなく、歴史はあまり身につけていなかった。
- ◆去年の事も大分忘れていたので、面白かった。
- ◆色々な角度から歴史というものを考えると、今まで見たこともない世界が広がりました。
- ◆知識を得ることは楽しいけど、頭を使って考えるのはしんどいことだなあ。でもこれで老化防止になるからがんばらなくっちゃならないなあ・・・。
- ◆コロンブスが、アメリカ大陸を発見したという世界史も、視点を変えると奥深い勉強になると感じた。
- ◆新大陸発見って、北と南のアメリカ大陸発見したことだったのですね。当たり前のことのように、**「アメリカ大陸発見」**という言葉を知ると、北アメリカだけと思ってしまうのは不思議ですね・・・って感じるのはわたしだけか？
- ◆氷河期での大陸毎の変化は、驚くべきもので、その後の進化に大きな違いをもたらしていることが、原産物を通して良くわかりました。
- ◆家庭菜園で野菜を育てるのに、原産地の知識も大事とのこと、今日を機会に真人間になって頑張ります。
- ◆世界史の授業も違う観点からとらえ、二つの大陸文明の出会いからの切り口はおもしろかったです。
- ◆楽しく、おもしろい授業、想像していた世界史とのギャップ、本当に気軽に勉強しました。
- ◆「世界史入門」大いにきたいしていたら、とんでもない、これって何？・・・でも、なっとく、ちがう視点からみたら、こうなるのだ・・・なるほど・・・
- ◆前にも習ったはずでしたが、改めて、食べ物から知る大陸文明の源に感心しました。
- ◆違った見方での歴史を教えて頂き、ありがとうございました。

- ◆昨年も受講しましたが、すっかり忘れていました。改めて再認識させて頂きました。
- ◆身近な食べ物から、壮大な歴史を学べる、スゴイ授業でした。
- ◆地球の歴史、生物の歴史、人の歴史、色々な知識を学ぶことができました。
- ◆全問不正解、なんと情けないことか！せっかく来てくださっている岸先生に申し訳ない（案外ニヤニヤかな）午後はネムイ・・・歴史の深い部分が学べたと思う。
- ◆歴史とう学問の認識が変わりました。
- ◆意外なものがアメリカ原産で驚きました。また、「食」で世界がつながっていると思いました。
- ◆世界史入門、二つの大陸文明の出会い、住民の状況、おもしろかったです。
- ◆アメリカ大陸原産の農産物、沢山あるのにびっくりです。
- ◆アメリカだけでなく、国作り、食作りは大変なものだったのですね。私達は幸せですね。これからも戦なく暮らせますように。

たかまっちゃんのひとレポ

最後のほうに書いてくださった<異なる文化の出会い>この言葉がとても印象に残りました。世界中で起こっている戦いやもめごと、これらは相手を憎み続けるのでなく、お互いが少しずつ理解しあう努力をすれば、良くなっていき、子ども達や母親たちが犠牲になることはないのに・・・と思いました。

いま、日本は外国からの観光客がイッパイお越しになっています。

このチャンスに、いろんな国の人達と接して、お話ししてみましょう。いろんな世界が広がっていくかもしれません。